



Photograph : TAKEHANA Yasushi

学校の統廃合計画で、 教育の、子どもの危機！



2024年12月に発表された『区立学校適正配置第二次実施計画』。いわゆる学校統廃合の計画です。新たに、豊溪中学校、光が丘第八小学校の2校が、統廃合対象とされました。統廃合では、数年かけて学校や地域と話し合うのが全国的に通例ですが、それもなく、突然の発表でした。当然、地域、保護者は大反対。計画では他にも8校が、統廃合の検討校とされています。練馬区の教育がどうになってしまうのか…区の未来を揺るがす、重大な問題です。

- 光八小 ➡ 田柄小と **統合**
- 豊溪中 ➡ 光一中と **統合**
- 春日小 ➡ 学区域変更

他にも8校が、**統廃合の検討校**に！
光八小の校歌は、
あの谷川俊太郎さんの作詞！

おひさまの见えない指が
友達のほほをくすぐる

素敵な歌詞も、
廃校になれば、なくなるのです…

子どもに与える心の傷 「広義の心的外傷」

統廃合で何よりも問題なのは、子どもへの影響。統廃合は「広義の心的外傷」と指摘する教育学者もいます。大阪府では2013年、統廃合が理由の小学生の自殺が発生。遺書には、「どうか一つのちいさな命とひきかえに、とうはいごうを中止してください」と綴られていました。しかし練馬区は、今回の統廃合計画発表にあたり、心のケアについての周知さえしていません。

負荷は、そのまま子どもや教員へ

教職員による性暴力、いじめ、不登校、ヤングケアラー、先生の多忙化など…学校は今、様々な問題を抱えています。その状況下で、統廃合は学校へのさらに大きな負担に。他にも問題は山積み。次ページで詳しく解説します。

新しい教育方法を
提案し続けています！



統廃合ではなく、新しい教育の可能性を！

今求められているのは、子ども一人ひとりを大切にできる、新しい学校のかたち。全国では、新しい教育実践も進んでいます。

その一つが、「自由進度学習」。生徒が自分で時間割をつくり、自分に合った進度で学ぶ方法です。自分で決めるからこそ、前向きに、楽しく学べるのです。

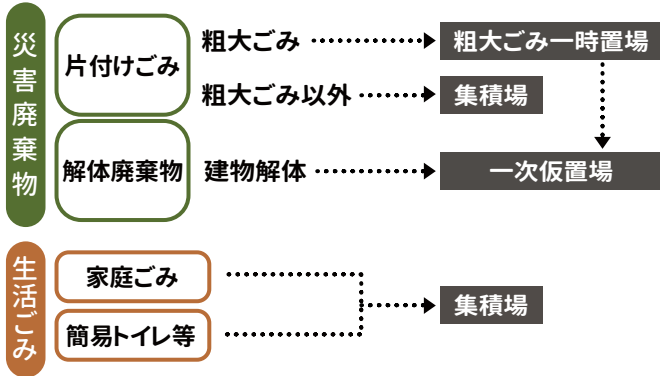
練馬区でも新しい学びの実現は可能！ これからも提言していきます。

重要計画が次々策定へ！

2024年度末、重要な計画が多数策定されました。いくつかご紹介します。

✓ 災害ごみの処理、どうなる？ 練馬区災害廃棄物処理計画

万一、災害がやってきたとき、必ず発生するもの。それが災害ごみ、災害廃棄物です。災害廃棄物の処理計画は、練馬区では、今回が初。



候補地は計画内に記載されていますが、練馬エリアで候補地が少ない等の地域差や、設置場所の周知、実際の管理等の課題も。災害前の平時に、広く知って頂くことも、重要な計画です。

✓ 「はて？」とならない ジェンダー平等を前に進めよう！ 第6次男女共同参画計画

2024年は、朝ドラ『虎に翼』が話題に。主人公・寅子は、男女不平等の壁に直面するたび、「はて？」と疑問を表します。高口も、練馬区の施策に「はて？」と思うことが多々…。『男女共同参画計画』はジェンダー平等推進の計画なのに、第5次の前計画には、「ジェンダー」という言葉さえ入っていませんでした。

人権としての包括的性教育、セクシュアリティ教育や、男女の経済格差を解消する施策（※）を盛り込むよう求めましたが、計画に反映されず…「はて？」

※「公契約条例」があれば、公共工事等で、受注者責任や賃金の下限等を契約事項に加えられる。23区では過半数が制定。

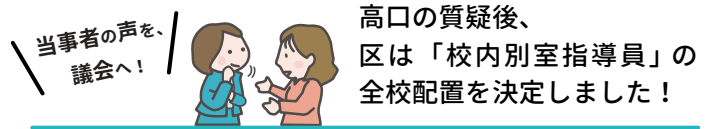
✓ 子どものことが網羅された2計画！

■ 教育振興基本計画中間見直し

こちらは「中間見直し」なので、元の計画からの変更点を中心に。不登校対策の「校内別室指導支援員の配置」を、早期で全校に。断熱改修も計画に入れること等を、議会で求めました。

■ 第3期練馬区子ども・子育て支援事業計画

学童クラブでの昼食提供がついにスタート！ 保護者の要望が多かった事業が実現…！ 声をあげる大切さを感じます！



✓ インクルーシブ教育の課題も… 特別支援教育実施方針

知的学級の増設（小中1校ずつ）や、自閉症・情緒障害学級の固定級設置検討、教育・福祉の担当部署の新設…などが、新たに発表されました。

高口からは、保護者の送迎への対策、専門性の高い教員の確保、教員を増やして余裕をつくり、研修へのモチベーションにつなげることで、学校生活支援員の増員・待遇改善が重要だと指摘。

また、作業療法士が学校内の環境調整をする「飛騨モデル」等、今の教室を改善する方法も提案。「まず分けない大切さ」を訴える障害当事者らの声も伝え、フルインクルーシブの検討もあわせて求めました。

飛騨モデルとは

障害児の次男をもつ岐阜県飛騨市市長都竹淳也さんが取り組む福祉改革。全国から視察があります。「弱い人のために、結局みんなのためになる」の言葉に強く共感します。



しっかり尊重したい、子どもの権利「意見表明権」

『こども基本法』の制定で、こどもの声を聞くことが義務化されました。

区の計画では、素案の段階でパブコメが実施されます。今回の計画素案では、子ども向け資料を作り、子どもからも意見を受付けました。高口もずっと子どもの声を聴くことを求めてきており、一歩前進！…ですが、残念ながら、ほぼ反映されていません。特に子どもの計画では、子どもの意見を最優先すべ

きです。「自分の声で変えられるんだ」「また意見を送ろう」と実感できることが、民主主義の教育としても大切。こどもワークショップ等、意見を聞く方法の工夫も、必要です。

こども哲学など、子どもが意見を言いやすくする取組があります



誰のための学校？

問題だらけの 学校統廃合



問題 1 決定プロセスは不透明、隠蔽体質も。

区は、計画策定にあたり、「適正規模適正配置検討委員会」の答申を受けています。この「検討委員会」は12人中、区の管理職（部長、課長）が6人と半数を占める構成。委員長は教育振興部長、副委員長は統廃合担当部署の教育施策課長。区が区に答申を出しているようなものです。

適正規模適正配置検討委員会（12名）



委員長
教育振興部長
副委員長
統廃合担当部署
教育施策課長

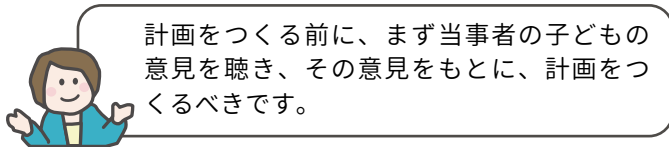
区職員は委員にはならず、事務局に徹するのが通例。区の都合で進められる状況に。



- 会議は非公開。
対象校選定の会議録も、情報公開でも出てこず！
- 文科省方針にも沿わない練馬区独自の選定基準。
内容も大雑把で、疑問が噴出！

問題 2 子ども＝当事者の声の軽視

今回、子どもの意見は全く聞かずに計画をつくり、計画発表後も、豊溪中など当事者の生徒への直接説明もしていません。子どもからのパブコメは、16名と、わずかでした。



問題 3 過大規模校には対策ゼロ

生徒数が多すぎる過大規模校の問題は、すべて先送り。計画には「今後の状況のみて再検討」とのみ記載しています。



中村小 生徒数 885人
開三小 生徒数 701人

➡ 対応せず

教室不足、ぎゅうぎゅう詰めの環境等、現実的な課題は多数。それには対応せず、統廃合だけ進めようとしています。

「適正化」と言いながら、小さい学校を潰すだけの計画。他自治体では、反対を受けて統廃合を中止したケースも。

「子どものため」を第一に考え直すよう、皆さんと声をあげ、議会で糺していきます！

保護者の切実な声…！ 議会に届けました。

豊溪中新2年生の お母さんからのお手紙（抜粋）

入学前の学校説明会で、先生方が口々に小規模校ならではのよさを伝えてくださいました。教室をゆったり使えて圧迫感なく過ごせる、進路指導が手厚くできる。係や当番が多く回ってきて責任感をもって取り組める、自己表現の機会が多く自分を磨ける…『大人数の学校で埋もれてしまう子が輝ける学校です』この言葉で、豊溪中に決めました。

豊溪中のキャッチコピーは

『君が知らない先生がいても、
君を知らない先生はいない』

入学し、本当にその通りだと実感しました。

我が子は小学生の時、長期の不登校を経験しましたが、豊溪中の恵まれた環境のもとで復学できました。他にも、不登校経験があったり、発達特性により大規模校が合わない生徒など、遠くでも、通学区域外から豊溪中を選んで、通っている生徒がいます。

少子化だからと学校を減らし、子どもたちを狭い空間に押し込み一斉指導するやり方では、今後も不登校は増え続けると思います。

また、豊溪中学校は、練馬区の中学で唯一のコミュニティ・スクール実証校。地域から愛されている学校です。皆さん一番に子どもたちのことを考えて活動くださっています。「豊溪中を選んで本当に良かった！」と感じてきました。

心が大きく揺れ動く思春期、先生や地域の方、保護者に見守られて過ごす時間はきっと一生の宝物になります。

豊溪中学校を未来の子どもたちに
残してください。

高口も、統廃合の当事者

高口自身、長年統廃合問題に振り回されている小竹小、旭丘中の保護者。

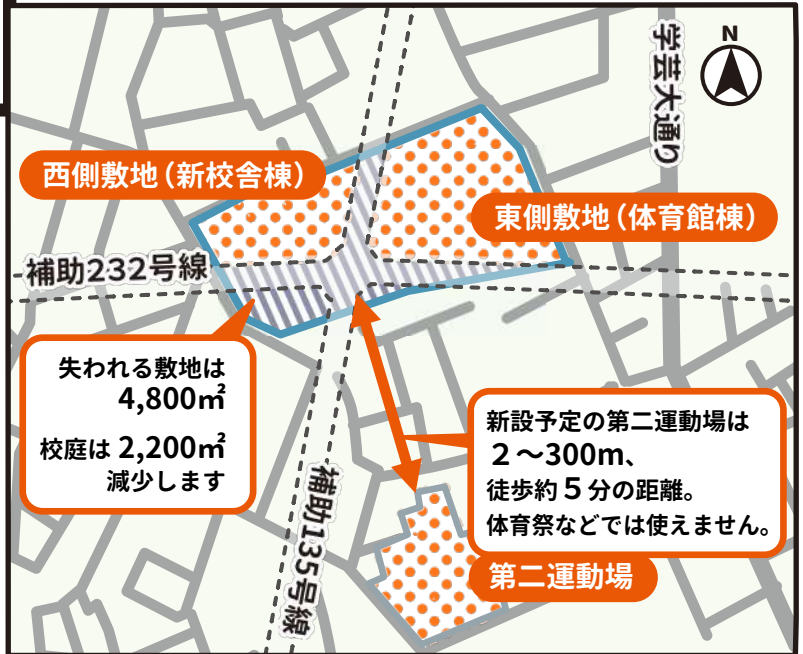
旭丘で建築中の小中一貫教育校（みらい青空学園）に、いずれ小竹小も統合するというのが、区の方針ですが…。今回の計画でも、判断基準も不明なまま。

10年たっても曖昧で不透明なプロセスで、地域の合意形成も進んでいません。



学校を道路で 4つに分断…！ 大泉第二中学校の行方

大泉第二中学校（大二中）を、補助135・232号線という2つの道路で敷地を4つに分断する、前代未聞の計画。それを進める方針が、策定され、大きな問題となっています。



□ 現在の
大二中敷地
 □ 分断後
失われる敷地
 □ 分断後の
学校予定敷地
 □ 道路予定地

分断で狭くなる敷地と校庭 新校舎は4階建てに

減少する校庭を補う形で新設予定の第二運動場は離れた場所にあり、事故や防犯への懸念も。

新校舎は、階段での昇り降りに加え、校庭にも道路の上を渡り廊下で移動することに。災害時にエレベーターがとまったら、車いす等でどう移動するか等、課題が残されています。

学校だけ分断され、 道路が完成しない可能性

補助135・232号線には現道がなく、用地買収に長い年月がかかります。1軒だけでも残っていれば、道路は開通しません。学校だけ先に建替えられ、道路は通れない悲劇が起こり得るのです。

地域の声…反対署名は三千筆

区議会には、反対・賛成両方の陳情請願が提出されました。計画賛成の署名が約200筆に対し、反対は3千以上。地域の声を表しています。

どうしても道路を通すなら、地下に通す方法も。「子どもの教育環境」を最優先させるべきです！



練馬区立美術館改築

当初の1.5倍、109億円超え！

美術館の改築費用が膨れ上がっています。まだまだ上がる可能性も高く、公表されていない費用も多々あり、総額さえ不明。まさに、青天井の聖域事業と化しています。

目黒区美術館や中野サンプラザなど、資材高騰を理由に計画変更を発表した事例は多数。

一方練馬区は、2025年度、解体に取りかかる予定。壊してしまっっては、取り返しがつきません！

時世に合わせ、柔軟な対応を

本当に文化芸術が大切なら、学芸員の待遇改善等、かけるべき予算があるはずです。



美術の森緑地も、工事で長期間使えない状態に。子どもたちの遊び場がまた、奪われます。

工事の入札不調、相次ぐ…

人手・資材不足が練馬区を直撃！

人手・資材不足、物価高騰により、工事の入札ができないケースが、練馬区でも急増中。

ついに緊急事態も発生！ 区の電気保安業務を長年一手に引き受けてきた関東電気保安協会が、突如、2025年度以降の契約を辞退したのです。理由は、資格者の確保が困難なためでした。全区立施設・学校185か所に関わる問題です。

区民生活の分野に注力を

今後も様々な分野で、人材不足の影響が出ることは確実。美術館改築のような大規模なハコモノに力を入れるより、区民の生活に不可欠な業務が支障なく継続することが最優先。今までのやり方を見直す姿勢が、大切です。

総合体育館の建替えも動き出しました。

駅から遠いため、豪華な設備より、送迎の課題を考えることが重要です。





足元の生活に目を向けた区政を！

たくさんのテーマを、魂を込めて質疑しました。
動画をぜひご覧頂ければ幸いです。



年に1度の一般質問！

一般質問は、練馬区議会では、質疑25分+区の答弁20分。一年に一度、各議員の問題意識から自由に質疑できる、貴重な機会です。

2025年2月12日、高口の一般質問…前半は、学校統廃合問題がメイン。子どもへの影響など、様々な角度から質疑しました。

教育について

- 学校統廃合問題
- 校則の問題
- 新しい教育を！
こども哲学、コミュニケーション教育・表現教育、自由進度学習
- 性的いじめ問題
- 保育園での性暴力防止策

福祉・医療について

- UDトーク→区イベントで必須に
- やさしい日本語、実践で使えるように
- 学童の障害児枠、課題解決を
- 高額療養費の自己負担限度額問題
- 年末年始の休日診療の充実

まちづくりと対話、民主主義

- 学校断熱・教室断熱の実施を
- シックハウス症候群、香害、対策を
- 練馬区立美術館改築問題
- 桜台東部地区まちづくりの課題

防災と平和

- 防災の充実と、災害時の心のケア
- 職員のケア（ケアする人のケア）
- 核兵器禁止条約…平和のために区としてできることを！

練馬区議会も、変えています！

これまで、練馬区議会の一般質問では、教育・子育ての質問に対し、区長与党には教育長が答弁するけれど、野党には答弁しない（かわりに、部下の部長が答弁する）…という、差別的な対応が続いてきました。

昨年、高口が一般質問において、その問題を糾弾。その後、区への対応が変わり、野党の一般質問でも、教育長が答弁するようになりました（与党には教育長のみ、野党には教育長+部長が2人登壇で、態度を分けてはいますが…）。

少しずつ議会をよい方向へ変えていることを実感しています。
これからも、頑張ります！



2025年度予算特別委員会で質疑

気候危機、みどり、エネルギー施策

- 品川区が有機給食を導入 ▶ 練馬区でも！
- 酷暑で発育に影響が… ▶ 練馬大根を守れ！
- 国の第7次エネルギー基本計画
▶ 国の原発回帰の方針は、区の再エネ拡大の足かせに

清掃、リサイクル

- 清掃職員は、災害対応でも重要…
▶ 区直営の作業員や運転手の維持を
- 豊玉リサイクルセンターが移転
▶ コミュニティの拠点となる施設に

福祉、自立支援

- ひとり親の体験格差解消 ▶ 経済面だけでなく、時間・体力・気力のなさも考慮した施策に
- 氷河期世代の正規雇用
▶ 23区での氷河期採用、とりやめに…再開を！

人権、平和推進

- 戦後80年
▶ 戦争体験を若い世代に引き継ごう
平和祈念コンサートで、ヒバクシャの体験談を

子ども、教育、学童・保育

- 遊ぶ権利と公園
▶ 公園の暑さ対策
▶ 体験格差解消の観点でも…花火ができるように
▶ 事故防止と「リスクベネフィットアセスメント」
- 学童待機対策
▶ 特別支援学校内に学童、都に働きかけを
- 保育園等、未就学児の性暴力対策→強化を！
- 中高生の居場所事業、各々のニーズにあわせて
- 良好な「学校風土」の研究結果から…
▶ 豊溪中はやはり必要！

2025年度予算で実現！

練馬区の2025年度当初予算は、過去最大規模。課題もある一方で、これまで高口が求めてきたことも実現しました。たとえば、**区立施設の電力の再エネ100%**への切り替え。**児童養護施設を出た若者支援**、いわゆるアフターケア事業については、当事者・支援者の声から昨年秋の議会を導入を訴え、2025年度の新規事業に。これからも、当事者の声を真摯に伺い、議会に届けていきます！

練馬区だって変わるんだ!

作：はらずん 画：aruha-



子どもも大きくなりました!

2025年で、議員生活8年目に。

初当選時はまだ小さかった子ども達も、中学生、高校生に。夫が生きていたら、相談したいな、と思うことも多々ありつつ…。親としての経験を重ね、それを議会質疑にも活かしています。私の仕事を理解してくれる家族に、感謝感謝です!



高口ようこ・ねりま区政通信

ともに

Vol.4

発行日：2025年5月

発行：インクルーシブな練馬をめざす会 高口ようこ

2024年度 主な活動

視察

表現教育、コミュニケーション教育

日本では遅れが指摘されるコミュニケーションや表現の教育。ワークショップなどを通じ、楽しみながら身につける方法を、先進的な学校の視察をもとに議会で提言しました。

2024/5/16

兵庫県豊岡市五荘小学校

劇作家の平田オリザさんが関わり、全校で取り組んでいる先進自治体。この教育を受けた子どもたちは「話し合いが好き」と実感できると、教育委員会のお話。

2024/12/23

小金井市立南小学校

わずか10分で寸劇を作り上げ、演技切った子どもたちに脱帽! 「もう一回やりたい」「アンコール!」と拍手まで自然発生。子ども達にとっても、楽しく、ワクワクする授業!



子ども・子育て

苦しい状況にある女性たちが、安心して暮らし、妊娠・出産・子育てができるように…見学し、お話を伺いました。

2024/4/9

若年女性のための居場所「ぴこカフェ」

2024/4/23

認定NPO法人ピッコラーレさん運営「若年妊婦のための居場所ぴさら」



環境

気候危機対策も、視察を踏まえ、積極的に議会で提案!

2024/10/31

品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」



2024/4/24

高性能断熱+

自然素材の

エコハウスを見学



企画

『1%の風景』練馬初上映会+吉田夕日監督&渡辺愛助産師アフタートーク

2024/4/23

助産所や自宅での出産という「1%の選択」をした女性達と、助産師のドキュメンタリー。監督と、映画に出演する渡辺助産師をお迎えしました。



2024/4/23

『元イスラエル軍兵士に学ぶイスラエルの歴史と戦争～平和への道はどこにある?』

子どもから大人まで、満員御礼。戦争や平和について考えるきっかけになりました。



練馬区議会議員 高口ようこ

〒176-0002練馬区桜台3-42-29荒川方

web koguchiyoko.net

tel 080-7746-8648

mail info@koguchiyoko.net

情報充実、発信中!



LINE 公式アカウント